

2022年度 鉄道事業設備投資計画

～さらなる安全対策の強化、ユニバーサルで快適な輸送サービスの提供を目指して～

京浜急行電鉄株式会社（本社：横浜市西区，社長：川俣 幸宏，以下京急電鉄）は長期ビジョンに掲げる「国内外の多くの人々の生活と交流を支え，持続的に発展する豊かな沿線」を実現するため，鉄道事業のさらなる安全対策の強化，ユニバーサルで快適な輸送サービスの提供を目指し取り組んでおります。

2022年度は引き続き品川駅付近や大師線の連続立体交差事業，ホームドア設置工事等を推進するほか照明設備のLED化といった環境負荷低減に向けた施策にも取り組み，総額231億円の設備投資を行います。

また，羽田空港第1・第2ターミナル駅引上線新設工事など，将来の成長に向けた投資についても着実に進めてまいります。

主な設備投資計画の内容は以下の通りです。

【2022年度鉄道事業設備投資計画の概要】

1. さらなる安全対策の強化

- (1) 連続立体交差事業の推進（品川駅付近・大師線）
- (2) 踏切安全対策の強化
- (3) 激甚化する自然災害への対策

2. ユニバーサルで快適な輸送サービスの提供

- (1) ホームドア設置工事の推進
- (2) 駅改良工事（ホーム上家延伸・昇降機更新等）
- (3) 車両更新工事（フリースペースの設置・車内案内表示器更新等）

3. 環境負荷低減に向けた取り組み

- (1) 駅および車両照明設備のLED化
- (2) 省エネルギー設備への更新

4. 将来の成長に向けた投資

- (1) 羽田空港第1・第2ターミナル駅引上線新設工事の推進
- (2) 非対面型駅窓口の拡大